

アストラゼネカ(株) 社員 3000 人によるボランティア活動
「高齢化する村を応援するプロジェクト」

参考資料

- プロジェクト概要
- 活動の特徴
- 活動地域と作業内容
- 昨年の活動を振り返って
- 協力組織の紹介
- 会社概要

2007 年 9 月 12 日

アストラゼネカ株式会社

本件に関するお問い合わせ
コーポレートマネジメント統括部 広報部
Tel : 06-6453-8011 Fax : 06-6453-810

■プロジェクト概要

本プロジェクトの目的は、高齢化・過疎化・孤立化が著しい中山間地域に全社員が出かけていき、農作業や環境保全のお手伝いをするとともに、体操や交流活動を通して、高齢者の方々の暮らしを応援することです。

本年は、活動対象となる農村を昨年より 10 ヲ所増やし、北は北海道石狩郡から南は沖縄県国頭村までの全国 50 ヲ所に、社員を 10 数名から 100 名のグループに分けて派遣します。

現地では地域のニーズに応じて農作業や山仕事、環境整備作業などのお手伝いを行うほか、地域の方たちとの交流を目的に、当社が本プロジェクトのために独自に開発した体操や懇親会なども実施します。

本プロジェクトは、NPO法人棚田ネットワーク（所在地：東京都、代表：中島峰広）、東京ボランティア・市民活動センター（所在地：東京都、代表：山崎美貴子）の協力を得て実施いたします。概要は次のとおりです。

名 称：高齢化する村を応援するプロジェクト

実 施 日：2007年10月10日（水） 少雨決行

活動地域：全国 50 ヲ所（3~5 ページ参照）

参 加 者：アストラゼネカ株式会社 社員 約 3,000 人

基本行程：午前 11：00 現地到着

午前 11：30~12：30 作業

午後 1：30~4：00 作業

午後 5：00 解散

主 催：アストラゼネカ株式会社

協 力：NPO法人棚田ネットワーク、東京ボランティア・市民活動センター

後 援：農林水産省（予定）

環境省（予定）



総勢 104 人で草刈作業（兵庫県多可町）

参考：昨年の作業の様子
高齢者だけでは手がまわらず、耕作放棄されている棚田の復元のために草刈作業をお手伝い。（その他の写真は 7 ページ参照）

活動の特徴

・社内公募のリーダーを軸とする活動展開

各地域ごとに自ら手を挙げたリーダー（呼称：キャプテン）を選出しています。キャプテンが、本社の基本プログラムを原案にして、訪問する地域のニーズに基づき、活動内容を企画し推進します。キャプテンはリーダーシップを発揮して、社内をまとめ、かつ訪問地域との調整も実施します。本活動はキャプテンを軸にしたボトムアップ型の社会貢献活動です。

・A Zオリジナル体操

体操の専門家に依頼して開発した 全身の血行を良くし、姿勢を正しくし、腰痛や肩こりの予防につながる体操です。健康維持の一助となることを期待して、当日の作業の最初と最後に、地域の方と一緒に楽しみつつ実施します。



加藤社長の号令によるAZ体操
(静岡県松崎町)

・昼食時や作業終了後の懇親会による地元の方との触れ合い

昼食時や作業終了後に、活動を振り返りながら、地元の方と社員が交流を深めたいと考えています。地元で採れた食材や棚田米を使って、地元のお母さん達と一緒に昼食を作ったり、作業終了後の餅つき大会やバーベキュー、当日みんなで収穫した枝豆を食べながらの懇親会等、地域ごとに計画しています。また、棚田保全や農業の担い手育成問題について地元の方からお話を伺い、解決策を一緒に考えようとする地域もあります。

協力組織様の声

NPO法人棚田ネットワーク代表 中島峰広先生

(早稲田大学名誉教授、棚田学会会長、「日本の棚田百選」選定委員)

棚田は国土の根幹です。その棚田のある中山間地域で、過疎化、高齢化により耕作放棄が進んでいます。このような状況の地域へA Zの若い社員が訪ねてボランティア活動することは、大きな力になり、元気を与えることになります。棚田、そして国土の荒廃を防ぐために、力を貸してください。

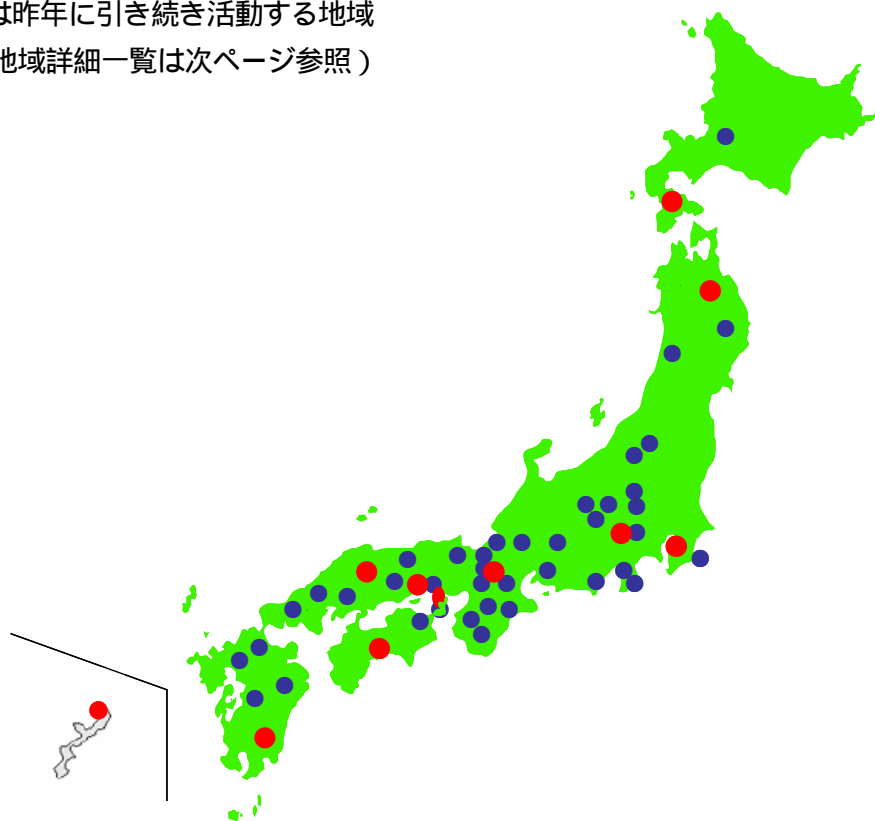
東京ボランティア・市民活動センター 企業担当 河村暁子さん

なかなか支援が届かない中山間地域の高齢者の方々のお手伝いをしようと、全国の社員が一丸となって主体的に取り組む本プロジェクトは、企業の社会貢献活動の新しいモデルとなることでしょう。このことが契機となり、より多くの社会的支援が高齢化・過疎化する村に集まっていくことを期待したいと思います。

■活動地域と作業内容

活動地域：全 50 カ所

は本年から新たに活動する地域
は昨年に引き続き活動する地域
(地域詳細一覧は次ページ参照)



活動地域別作業内容一覧

No.	活動地域	作業内容	社員 参加人数 (概数)
1	北海道石狩郡 新篠津村、樺戸郡 月形町	泥炭地保全区域の笹刈り、植樹等	110
2	北海道七飯町 鳴川	りんごの葉取り等	10
3	青森県三戸町 梅内	りんご・プラムの葉摘み、玉回し(色つけ)、収穫等	50
4	岩手県一関市 大東町	きゅうり畑の片付け・整理等	50
5	山形県朝日町 和合平	りんごの樹の葉っぱ取り等	70
6	栃木県那須烏山市 国見	草刈り等	30
7	栃木県茂木町 小深	棚田に流れる水路の堀ざらい等	40
8	群馬県川場村 谷地	後山古道の草刈り・枝打ち等	40
9	千葉県鴨川市 大山千枚田他	竹伐り、草刈り、道路整備等	110
10	千葉県君津市 豊英	ミツバツツジの株元のつる切り・草刈り等	90
11	埼玉県横瀬町 横瀬	脱穀、籾摺り等	70
12	東京都日の出町 大久野	竹の間伐、ハザがけ作り等	80
13	新潟県十日町市(旧十日町市) 池谷	籾摺り、山道の手入れ等	40
14	新潟県十日町市(旧松代町) 蒲生	川さらい、道路脇の雑木伐り払い等	70
15	長野県千曲市 姨捨	脱穀後のワラ片付け、あぜの草刈り等	30
16	山梨県増穂町 平林	稲刈り、脱穀、わら切り、大根畑の草取り等	70
17	静岡県松崎町 石部	花畑の草刈り等	60
18	静岡県菊川市 上倉沢	稲刈り、脱穀作業、復田作業等	50
19	静岡県浜松市 大栗安	稲刈り、ハザがけ、草刈り等	50
20	岐阜県恵那市 坂折	あぜ・石積みの草刈り、菜種の播種等	30
21	愛知県新城市 四谷	草刈り、わら切り、わら播き、田起こし等	110
22	福井県越前町 梨子ヶ平	自然遊歩道の整理・清掃等	50
23	奈良県明日香村 稲淵	棚田近辺の道路・ポケットパークの草刈り等	60
24	滋賀県米原市 曲谷	五色の滝周辺道整備・草刈り等	50
25	滋賀県高島市 畑	耕作放棄田の開墾、草刈り、土起こし等	90
26	滋賀県大津市 仰木	ブドウ棚作り、ブドウ植え、排水溝整備等	70
27	京都府京丹後市 太鼓山、佐野甲	台風による倒木の整理、森林の下刈り作業、雑木の除去等	60
28	京都府舞鶴市 与保呂	竹の伐採、与保呂川の草刈り等	60
29	和歌山県紀美野町 生石高原	遊歩道の土砂流出防止作業	120
30	和歌山県海南市 上谷	桜の下草刈り等	130
31	和歌山県有田川町 沼	遊休農地の草刈り等	90

32	兵庫県丹波市 青垣	加古川桜堤の除伐切枝、草刈り等	70
33	兵庫県多可町 加美	石垣と田んぼ周辺の草刈り等	100
34	兵庫県三田市 母子丸岡	棚田の草取り等	100
35	兵庫県三木市口吉川町	溝さらえ、丹波黒大豆枝豆の収穫作業等	90
36	兵庫県佐用町 乙大木谷、田和、西新宿	草刈り、草取り等	70
37	兵庫県淡路市 井手	棚田・耕作放棄田の草刈り、そばの中耕・除草等	90
38	岡山県美咲町 大埴和西	稲こぎ、ハザかけ、ひまわりの収穫等	60
39	広島県安芸太田町 中筒賀	棚田の水路掃除、石垣の草取り、花の植え付け等	40
40	島根県吉賀町 柿木村	石積みの草刈り、稲わらの散布等	20
41	山口県長門市 油谷東後畑	稲刈り等	30
42	徳島県三好市 井川町	棚田の石積みの修復、草刈り等	30
43	徳島県上勝町 旭	棚田の草刈り、千年の森ふれあい館周辺の草刈り・清掃等	20
44	高知県大豊町 八畝	草刈り、稲刈り等	40
45	福岡県うきは市 葛籠	棚田での空き缶・ゴミの回収、菜種種子播き等	60
46	大分県玖珠町 山浦早水	米の収穫、田んぼの後片付け、椎茸の原木起こし等	40
47	佐賀県唐津市 相知町	展望所・交流広場の草刈り、農道の支障木伐採等	40
48	熊本県水俣市 久木野	稲刈りの手伝い、石垣の草取り、つる切り等	30
49	宮崎県日南市 酒谷	稲刈り、かけ干し等	40
50	沖縄県国頭村 奥	海亀の産卵する海岸の清掃等	10

昨年の活動を振り返って

アストラゼネカの使命は「患者さんに貢献する」ことですが、その前提として「社会に貢献する企業でありたい」という願いがあります。日本法人としてはじめて取り組む際に、CSR活動のテーマとして、多岐にわたる社会貢献活動の中でも『人と環境への配慮』を軸におくことを目指しました。

そして、社会貢献活動に関して豊富な情報を持つ東京ボランティア・市民活動センターに相談を持ちかけたところ、「棚田の保全」「高齢化・過疎化する農村への支援」というテーマに取り組むNPO法人棚田ネットワークをご紹介頂きました。

棚田のある中山間地域は、若い人の声が聞こえることもめったにないと言われるくらい過疎化の進んだ地域で、その維持・振興は日本の社会的課題です。また、棚田保全も環境問題の最前線の課題です。

棚田などのある高齢化・過疎化する地区をご訪問し、弊社の社員一人一人が地域の皆さんと触れ合い、農作業や山仕事などをお手伝いして一緒に汗を流すことは、組織全体として動けるのは年に一日ではありますが、今後もさまざまな形で継続的に支援していきたいと考えています。

また、現地のお年寄りの皆さんの指導で社員が無心になって草を刈ったことや、地域の方々の笑顔によって、社員は爽快感とともに多くのことを学びました。社内的にも、地域の高齢化、過疎化という社会問題や農山村の環境保全問題への関心が深まり、社会を見る視野が確実に広がるなど、社会貢献活動の社内的な意義をも実感しました。

昨年11月に実施したこの「高齢化する村を応援するプロジェクト」は、弊社の日本における本格的なCSR活動の第一弾として、豊かな「収穫」を得たと確信しています。弊社は医療用医薬品の研究・開発・製造・販売という通常ビジネスによる患者さんへの貢献活動に加え、当プロジェクトをはじめとする活発な活動で、より社会に貢献したいと考えています。

昨年の活動に対する地域の方々の声

社員を受け入れてくださった地域の方々から、このプロジェクトに対して「とてもよかった」という感想を数多くいただきました。以下に代表的なコメントをご紹介します。

- ・ 社員の皆さんの笑顔が、高齢で後継者も少ない農村を元気付けてくれました。1年で一番にぎやかな日でした。
- ・ 若い人たちだったので、どのくらい働けるか不安だったが、考えていた以上に働いてくれたので当初予定していた面積以上に作業がはかどった。
- ・ 大変よく仕事をしていただき、1人たりともサボる人もなく皆さん汗だくになって真剣に作業をしていただき、本当に役に立ちました。
- ・ 皆さん、真面目によくやってくれた。作業を手伝ってくれた皆さんから「ありがとう」と言われて本当に嬉しかった。小生らも皆さまに百回くらい「ありがとう」を言いたい。

なお、直後のアンケートでは全地区（昨年は40カ所）から「よかった」と評価されています。

昨年の作業風景

AZ オリジナル体操 (和歌山県紀美野町)



冬囲い作業 (北海道石狩郡)



わらまきの作業 (長野県千曲市)



**富士山が見える棚田での草取り
(静岡県松崎町)**



砂浜のゴミ拾い (京都府京丹後市)



柿の収穫 (福岡県うきは市)



作業終了後、受け入れ地の方々と (新潟県十日町市池谷)



協力組織の紹介

NPO法人棚田ネットワーク 概要

棚田ネットワーク (The Supporters' Network for Terraced Paddy Field) は、1995年秋に高知県梺原町で開かれた第1回全国棚田(千枚田)サミットをきっかけに、関東圏の都市住民が中心となり設立されました。上流(山村)の荒廃は下流(都市)の危機であるという認識のもと、棚田を入口としてさまざまな課題を見つめ、山村と共生の手をつなぐための活動に取り組んでいます。主な活動内容は以下の通りです。

現地活動(棚田での米作り体験、地元の共同作業の支援、遊休農地拡大防止を視野に入れたビオトープづくりなど)

「地元農家に負担をかけない=“お客さん”にならない」がモットー

都市での普及啓発活動(棚田の学校[1999年にスタート、8期まで開催] 各種イベントへの参加[アースデー、エコプロダクツ展 愛地球博など] 独自イベントの開催など)

棚田に関する情報の発信(会報の定期発行、ホームページによる情報発信など)

棚田に関わる各地のグループのネットワークづくり

2002年8月にNPO法人の認証を受け、現在の会員数は約230人です。代表の中島峰広(早稲田大学名誉教授)は、「日本の棚田百選」に選定された134ヵ所をはじめ、全国数百ヵ所の棚田地域を自分の足で実際に歩いて調査する、日本における棚田研究の第一人者です。

特定非営利活動法人 棚田ネットワーク(代表:中島峰広)

〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-18-16-704

TEL:03-5386-4001 FAX:同左 URL: <http://www.tanada.or.jp/>

東京ボランティア・市民活動センター 概要

東京ボランティア・市民活動センター(Tokyo Voluntary Action Center: TVAC)は、都内周辺のボランティアやNPOといった、市民たち主体の営利を目的としない社会貢献活動を支援するために1981年に設立され、社会福祉法人東京都社会福祉協議会が運営しています。

主な事業としては、ボランティア活動やNPOの活動に関する相談、研修、情報提供、啓発イベントなどを、全国1800ヵ所以上の社会福祉協議会やボランティア・センターとのネットワークの中で展開しています。また、海外、特に米国や英国のボランティア・センターやNPOとの共同プロジェクトも数多く実施しています。

企業の社会貢献活動についても年間約50社からの相談を受け、活動先の紹介、オリジナル・プログラムの開発・支援、社員向けの体験講座や研修などを実施しています。特に近年は、忙しい企業人が参加できるボランティア活動の開発に力を入れています。

東京ボランティア・市民活動センター(代表:山崎美貴子)

〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1

TEL:03-3235-1171 FAX:03-3235-0050 URL: <http://www.tvac.or.jp/>

会社概要

アストラゼネカ株式会社は、「患者さんに貢献する」をミッションとして医療ニーズの高い治療領域で、医療用医薬品の開発、製造および販売を行っています。

アストラゼネカ株式会社 URL: <http://www.astrazeneca.co.jp/>

本社 : 〒531-0076 大阪市北区大淀中 1-1-88 梅田スカイビルタワーイースト
発足 : 2000年1月1日
代表者 : 代表取締役社長 加藤 益弘
従業員数 : 約3,000人
売上高 : 1,704億円 (2006年度法人決算)

日本の重点領域

- ・ 循環器領域 - 高血圧、狭心症、不整脈、心不全、高コレステロール血症
- ・ 消化器領域 - 消化性潰瘍
- ・ 呼吸器領域 - 気管支喘息
- ・ 中枢神経 - 片頭痛
- ・ 麻酔 - 局所麻酔、全身麻酔
- ・ オンコロジー(がん) - 乳がん・前立腺がん・肺がん

日本で発売している製品

Crestol (高コレステロール血症治療薬)、 Tenomin (高血圧症、狭心症、不整脈治療薬)
 Omeprazole (消化性潰瘍治療薬)、 Parmicoortarbyu Heiler (気管支喘息治療薬)
 Parmicoort 吸入液 (乳幼児気管支喘息治療薬)、 Zomig (片頭痛治療薬)
 Depripan (全身麻酔薬)、 Kincorocain (局所麻酔薬)、 Casodex (前立腺癌治療薬)
 Zoladex (前立腺癌治療薬、閉経前乳癌治療薬)、 Nolvadex (乳癌治療薬)
 Arimidex (閉経後乳癌治療薬)、 Iressa (肺癌治療薬)

AstraZeneca グループ

設立 : 1999年4月 (AstraZeneca PLC.)
本社 : ロンドン (英国)
研究開発本部 : セーデルテリエ (スウェーデン)
代表者 : 最高経営責任者 デビッド・ブレナン
従業員数 : 約66,000人
売上高 : 264億7,500万USドル (2006年度実績)
研究開発費 : 39億200万USドル (2006年度実績)

参考情報 英アストラゼネカのCSR活動に対する評価について

2007年7月4日発行の『Newsweek 日本版』の特集「世界企業ランキング」で、英アストラゼネカが第1位にランクされました。
企業の社会的責任(CSR)に対する取り組みが投資先を選ぶ判断基準になってきているなか、発言力など社会的影響力が増しているSRI(社会的投資家)との連携に取り組む企業像について、特集されたものです。

